〔みなさまと牛窓神社をつなぐ熱血新聞〕

備前 岡山 牛窓神社だより

第４９号

令和８年７月30日
発　行

〒701-4302
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2147
牛窓神社社務所
TEL 0869(34)5197





夏の風物詩「茅の輪くぐり」（8月31日まで）



暑中お見舞い申し上げます

宮司　岡﨑義弘

牛窓神社を大切に思われる地元氏子・崇敬者を始め、切っても切れない奇しき御神縁に結ばれた、全国各地のゆかりある全ての皆様方、常日頃は、牛窓神社以下、町内外各神社の維持運営並びに祭典の厳修につきましては、物心両面の温かい御理解、御協力を賜り、心から深く御礼申し上げます。

今年も酷暑の季節となりました。太平洋の赤道の辺りでは、大きなエルニーニョ現象が発生し、その為に日本近海には大型台風が発生し易くなると共に、一段と厳しい炎暑が続く事が心配されます。国際社会が団結して、地球環境改善の為に今こそ懸命の努力を致すべき秋ですが、現実は厳しく、世界の情勢は愈々混迷の度合いが深まるばかりです。各地の戦争が終結し世界が平和を取り戻す道は、甚だ険しいのが実情です（極めて残念なことですが…）。

今夏も皆様と共に世界の平和を真剣に祈りつつ、殊の外厳しき夏を元気一杯乗り越えて参りましょう。

八月一杯「茅の輪くぐり」の神事
疫病退散を祈る先人の知恵

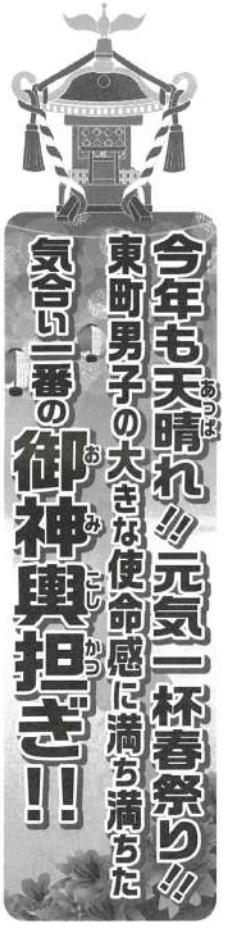
さて皆さん、本日七月三十日に、牛窓神社の夏祭り「**茅の輪くぐり**」**の神事**が行われました。

拝殿前に設置された直径二メートルの大きな茅の輪を三度くぐって、半年間の、罪、穢れ、災いを祓い清め、家内安全や無病息災を祈願し、そのあとカヤを一本持ち帰り、丸い輪にして自宅の玄関等にささげ厄除けにします。

大きな茅の輪は、今年も氏子総代さん達が昨日二十九日、日の出前にカヤを刈り、心をこめて作って下さいました。八月三十一日まで設置していますので、どうか皆様、御家族揃って、ひと夏を無事に過ごすことができますように、牛窓神社伝統の「**茅の輪くぐり**」**の神事**に御参加され、古来より伝わる先祖先輩の知恵にあやかってみて下さい。

また、氏子の皆様には、各戸にカヤ一本と祓い旗一枚を配布しますので、丸い輪にして旗を刺し、玄関等にて向こう一年間大切にして下さい。なお、昨年の古い茅の輪はお宮にお返し下さい。

雄々しく　力強く　元気一杯春祭り



令和八年五月十日（日）、牛窓神社恒例の春季例大祭の神事が午前八時四十五分から厳粛に行われ、皇室の安泰・国の隆昌・牛窓町内外の発展・世界の平和・五穀豊穣・氏子崇敬者の身心健康・家内安全・殖産興業など、さまざまな祈りと神恩感謝の気持ちを牛窓神社の神々に真心一途に熱祷させていただきました。

そして、愈々待望の**おみこし巡幸**の時を迎えました。毎年この時期を迎えると、何よりも先ずお天気が心配されますが、何と今年は終日雨の心配が全く無く、素晴らしい快晴の五月晴れで汗ばむ初夏の陽気に恵まれました。

さて、今年のおみこしの当番は**東町地区**でした。東町地区では、区長の石田茂樹氏、氏子総代の高田要一郎氏を中心に、地区を挙げて早くから準備に取り組んでいただき一生懸命に担ぎ手の人数集めに奔走して下さり、結果として凡そ十余名の男衆が雄躍して名乗りを上げて下さいました。また特筆すべきは、今回も「是非港町牛窓の**名物胴六角おみこし巡幸**に参加して、東町地区の一員として力を尽くしたい」と希望する町内外の**助っ人男子十名**の助勢があったことです（遠くは滋賀県からも）。

かくして、全行程の要所要所をしっかりと肩に担いで各町内の御旅所を力強く凛々しく巡幸することとなり、各御旅所での盛大な出迎えの人達の心の込もった**声援の拍手と真心の御接待**に感謝して、ほとんど全ての御旅所にて、圧巻の「しゃしゃげー」「それやまーせー」で元気印全開にて力強く応えて行きました。もちろん、これに依って各御旅所が熱気に包まれて、おおいに盛り上がったことは言うまでもありません。そして、各御旅所にて多くの人達が真剣におみこし様に手を合わすという、誠実で謙虚な祈りの姿こそは、港町牛窓の悠久の歴史の中で、先祖先輩達が孜々営々と伝えて下さった牛窓神社春祭りの**本質の姿**をいみじくも改めて内外に示す絶好の機会と成りました。

かくして、大きな感動と感激に包まれた春爛漫の長い一日も刻一刻と夕闇が迫る中、最終の御旅所である師楽地区を挙げての大歓迎を受けて無事に安堵のお山入りとなりました。

春季大祭のおみこし当番の大役を、天晴れ見事に果たして下さった**東町地区**の皆様、更には**助っ人男子**の皆様、また一連の春祭り全般に携わって下さり、大きく祭りを盛り上げて下さった各町内会の全ての皆様方**本当にありがとうございました!!**

今回も港町牛窓の培われた「**誇り高き祭魂**」を内外に力強く示すことができました。

宮司として、祢宜として幾重にも深く感謝と御礼を申し上げます。

なお、本年令和八年十月二十五日（日）の秋祭りのおみこし当番は、**前島地区**となります。どうか諸準備の程、宜しくお願い申し上げます。